

がん検診とは

公益財団法人青森県総合健診センター

・がん検診は、**がんを早期に発見し、適切な治療につなげることで、がんで死亡するリスクを減らす**ことが目的です。

・がん検診の対象者は**症状がない人＝健康な人**です。

症状がある方は、すぐに医療機関を受診してください。

がん検診の種類

※青森県総合健診センターの集団検診で
受診可能ながん検診

胃がん検診



検査内容

- ・問診
- ・胃部エックス線検査

対象年齢

50歳以上 ※深浦町は40歳以上

受診間隔

2年に一回 ※深浦町は1年に一回

※胃部エックス線検査は、当分の間40歳以上1年に一回も可。

胃部エックス線検査：胃の小さな病変を診断する検査です。バリウムと発泡剤を飲んで、胃の様子をエックス線で撮影し、検査します。

肺がん検診



検査内容

- ・問診
- ・胸部エックス線検査

対象年齢

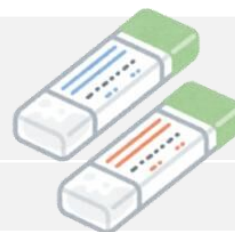
40歳以上

受診間隔

1年に一回

胸部エックス線検査：大きく息を吸い込んで息を止め、肺全体をエックス線で撮影し、検査します。

大腸がん検診



検査内容

- ・問診
- ・便潜血検査

対象年齢

40歳以上

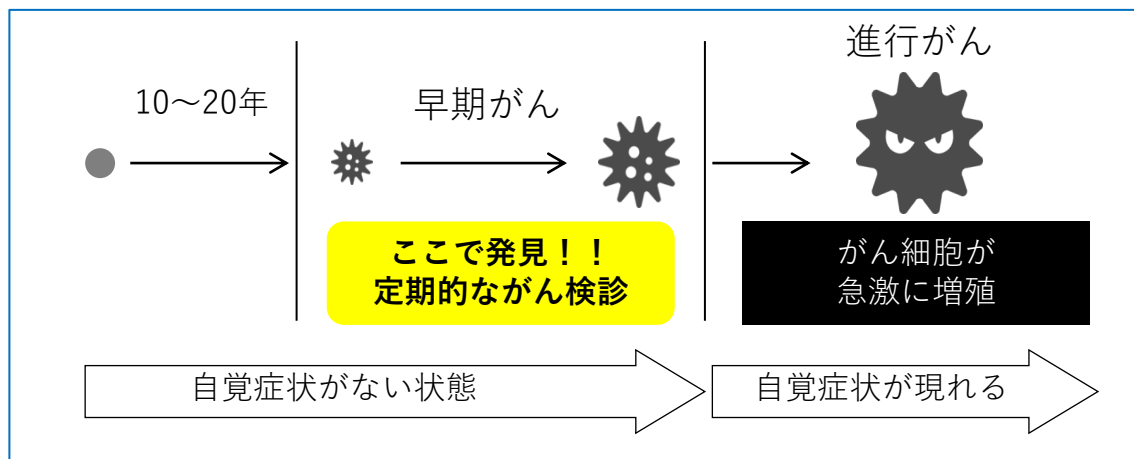
受診間隔

1年に一回

自分でできる簡単な検査で、2日間の便を取って提出します。目に見えない出血の有無を調べます。正しく調べるために、採便棒でまんべんなく、便の表面をこすります。

がんの発生と進行のしくみ

がんは正常細胞からがん細胞に変わった後、時間とともに次第に進行していきます。がんが1cmの大きさになるには、10～20年の時間がかかります。しかし、1cmから2cmになるスピードは早く、僅か1～2年程とされています。がん検診で発見できる早期がんは、1～2cmとなりますので、早期に見つけるためには、がん検診を毎年受けることが必要です。



早期発見のためには、**定期的ながん検診を受診しましょう**

乳がん検診

検査内容

- ・問診
- ・乳房エックス線検査（マンモグラフィ）

対象年齢

40歳以上の女性

受診間隔

2年に一回



乳房を板状のもので挟み、できるだけ平たくして撮影します。触ってもわからない小さなしこり等を見つけることができる検査です。

子宮頸がん検診

検査内容

- ・問診、視診
- ・細胞診及び内診

対象年齢

20歳以上の女性

受診間隔

2年に一回



子宮頸部の細胞を検査用のブラシでこすり取って採取し、顕微鏡で調べる「細胞診」を行います。